

(資料1) 平成27年度 磐田市立神明中学校 学校評価書

A:十分満足 B:おおむね満足 C:もう少し努力すべき D:大いに努力が必要

重点	目標・取組	評価指標	自己評価	考察・改善策	学校関係者評価委員から
「進んで、あいさつ」をやるに。	「おはよう、こんにちは、失礼します、さようなら等」からコミュニケーション力の向上を目指す。 - 授業での元気のよいあいさつ	・あいさつがしっかりできているか。	A	○【考察】生徒の85%、保護者の86%、教職員の82%、学校関係者の80%が、本校の生徒はあいさつができていると評価している。今年度も保護者や生徒会、教師による「あいさつ運動」を継続的に行ってきた。その結果、学校内におけるあいさつは定着している。一方で、「進んで」という点においては今一歩であると指摘する声もあり、自主性を育む生徒指導の充実が課題として挙げられる。 ※【改善策】 - 生徒会本部と生活委員会とが連携して、「あいさつ運動」をさらに活性化していく。 - あいさつ実践の段階的な指標として、①相手を見て ②自分から ③気持ち伝わるように、を意識して行えるよう指導していく。	- 神明中に用事で行くと、出会う生徒たちが進んであいさつしてくれる。 - 顔見知りの子は学校外でもあいさつをしてきて感心している。 - 緑風祭、鈴歌祭では、元気よくあいさつする姿が見られた。 - 交流センターを利用している部活の生徒が、気持ちよく大きな声であいさつしてくれる。 - 野球部の生徒が、練習中でも近くを通ると元気よくあいさつしてくれる。 - 地域では、自分からあいさつをする生徒は少ない。こちらが声掛けすると返してくる。 - 小学生と比較すると、あいさつに元気が足りない。
		・地域の人にあいさつをしているか。	B		
「粘り強く、をさやかに」	- 授業に集中し、自主学習に挑戦する。 - 行事や部活動、各種大会、コンクール、検定試験等への挑戦	・授業の内容が分かっているか。	B	○【考察】生徒の73%、保護者の69%、教職員の96%が、生徒は基礎的・基本的な内容が理解できていると評価しており、教職員としては、授業改善に意識して取り組んできたが、それが十分な成果として表われなかった。また、生徒の73%、保護者の65%、教職員の82%が、生徒は家庭学習の習慣が定着していると評価しているが、家庭学習の習慣化についても、学校と家庭の協力のもとで、生徒の意識を高めていく必要がある。そのために、生徒の「主体性」を育む学習指導の充実と、家庭学習の内容面の見直し・充実が課題として挙げられる。学校行事では、生徒の90%、保護者の93%、教職員の95%が肯定評価、部活動等では、生徒の91%、保護者の88%、教職員の95%が肯定評価をしており、生徒は、行事や部活動に意欲的に挑戦し充実感を得ることができたことが伺える。 ※【改善策】 校内研修で「わかる・できる主体的な学び」を目指した授業の改善（言語活動の充実、アクティブ・ラーニング、目標に準拠した評価、全国学力・学習状況調査の活用）を図っていく。	- 各種行事に一生懸命取り組んでいる。 - 緑風祭・鈴歌祭は、生徒の一体感があつた。 - 合唱練習を家でも熱心に行っていた。 - 部活動に一生懸命取り組んでいる。 - 毎年、人権作文にたくさん応募している。
		・家庭学習の習慣を大切に、宿題や予習・復習などの学習に取り組めたか。	B		
		・部活動や各種大会・コンクール等に積極的に挑戦できたか。	A		
「進んで、ボランティア」をやるに。	奉仕活動・福祉活動・環境整備を通して、思いやる心を育成する。	・奉仕活動、福祉活動等に進んで取り組めたか。	A	○【考察】生徒の60%、保護者の57%、教職員の93%、学校関係者の90%が、生徒はボランティア活動に進んで取り組んでいると評価している。本校の総合的な学習の時間「アクティブタイム」やボランティア活動を通して多くの生徒が福祉活動に進んで取り組むことができた。生徒や保護者の評価は控えめだが、実際にボランティアを受け入れてくださっている地域の方からは高い評価を得ている。また、本校生徒のボランティア参加数は磐田市の学校の中でも一番多い。 ※【改善策】 今後も、学校文化「福祉の神明」づくり（「アクティブタイム」の充実、ボランティア活動の紹介の工夫、生徒会による福祉活動の工夫）をさらに推進していく。	- アクティブタイムの福祉活動に一生懸命取り組んでいた。 - 地域の運動会のボランティア活動に、非常に多くの生徒が参加してくれた。 - 交流センターのボランティア活動を、よくやってくれた。 - 部活動等の予定がない限り、誘い合ってボランティア活動に参加してくれた。 - 防災訓練にも、積極的に参加してほしい。訓練での、中学生の役割も明確にしていきたい。
		・福祉活動等を通じて、思いやる心の育成ができたか。	A		

学校関係者評価を受けてのまとめ

- 学校運営協議会の委員からは、「あいさつ」に関しては、学校内や部活動ではよくできているが、地域ではあまり積極的でない姿も見られるという評価、「挑戦」に関しては、行事や部活動に一生懸命取り組んでいるという評価、「ボランティア」に関しては、地域で積極的に取り組んでいるという評価をいただいた。次年度は、以下の点を重点的に指導していきたい。
- ・「あいさつ」に関しては、学校を支えてくださっている地域の方に感謝の気持ちをもって進んで行えるように指導していく。
 - ・「挑戦」に関しては、行事や部活動とともに、「わかる・できる主体的な学び」を目指して、さらなる授業改善を図り、生徒が主体的に取り組める学習環境を整えていく。
 - ・「ボランティア」に関しては、地域行事も含めて、さらに積極的に参加し、地域に貢献できるように指導していく。